

# How to organise a

# Car-Free Day in

# カーフリーデー

開催までの10のステップ

# 10 steps



EUROPEAN  
MOBILITY  
WEEK



## エリアの設定

カーフリーエリアは、都市全体でも、特定の範囲でも、有効です。複数のエリアで行う場合には、歩行者が快適にエリア間を移動できるよう、歩行者動線に配慮してください。また、設定の際には、エリアのタイプ（住宅地、オフィスエリア、商業エリア）、アクセシビリティ、周辺の駐車場状況などをよく検討してください。当日は、自動車交通の混乱をできるだけ避けるよう、事前に、マイカー利用者への的確な情報提供を行いましょ。

毎年、9月22日には、カーフリーデー（クルマのない日）として、ヨーロッパを中心に世界の約1000都市で、自家用車の通行を禁止し、人々のために道路が開放されています。そして、人々が、年間を通じて、もっとカーフリーデーがあったらいいと思っていることは驚きではありません！



## 時間の設定

カーフリーデーを平日に設定できると、自動車がもたらすCo2排出量や騒音、燃料消費を最大限に削減できます。同時に、日々の移動で、他にもバスや自転車など選択肢があると、市民に気づいてもらうことができます。時間は、通勤時間の前後1時間を含めた一日8時間程度が理想です。これが難しい場合には、土日や祭日に行くことから始めるのもよいです。また、モビリティウィーク期間だけでなく、通年行う場合には、月に1回、どこかの週末で、また、毎週日曜日に設定してみてください。



## 情報発信と共有

カーフリーデーを実施する際は、当日、住民やマイカー通勤者を混乱させないために、自治体は、さまざまなメディアを活用して、市民へ発信したり、市民との細やかなやりとりが必要となります。事前の細やかなコミュニケーションは、カーフリーデーの苦情や混乱を減らします。そして、その際には、ぜひ、持続可能なモビリティをPRしてください。



## 地域の団体との協働

カーフリーデーに参画してくれる団体・市民は、多ければ多いほど、充実します。たとえば、自転車の団体、学校、企業、自治会、青年会議所、公共交通機関など。特に、カーフリーエリア内にある店主さんたちには、自動車が入れないことについての理解や協力を得るための特別な配慮が必要です。



## 規制の実施

当日の朝、カーフリーエリアは、バリケードなどで、自動車の通行を禁止します。カーフリーエリアの入口は、誘導員を配置する必要があります。警察や交通局など関連機関のサポートが必要となります。



#MobilityWeek



EUROPEAN  
MOBILITY  
WEEK  
16-22 SEPTEMBER 2022



# 6

## クルマに代わる移動手段の提供



公共交通機関は、現状よりも、市民が便利に利用できるようにサービスを改善する必要があります。体の不自由な人がより利用しやすいようにしたり、特別運賃や無料チケットを発行したり、バスまたは電車のチケットとで併用できる駐車券を発行したり、映画館、プールなどの娯楽施設における割引チケットを提供するなどのサービスが必要です。また、自転車や、マイクロモビリティ(超小型モビリティ)も車に代わる優れた移動手段です。地元のサイクリング団体と協働して、マイクロモビリティのサービスを提供する事業者と協力し、シェアサイクルやスクーターの安全な使用を促進します。カーゴバイクの活用を忘れないでください。

# 7



## 緊急車両等の対応の検討

カーフリーエリア内では、病院など医療関係の送迎車、障害者・高齢者サービス車、救急車は、当日の通行を許可します。また、緊急を要する修理事業車についても同様です。

それ以外の自動車通行については、最小限になるよう、個別に検討してください。



# 8

## 駐車場の検討

カーフリーデーでは、自家用車で通勤する人に向けて、駐車場が必要になります。駐車場は、バスや電車など公共交通やシェアサイクル(スクーター)、徒歩や自転車関連施設などとスムーズに接続されている必要があります。それらが難しい場合には、特別なシャトルサービスを走行させることも価値があります。近隣住民は、前日に通りを確認する必要があります。

# 9

## 前日の道路の測定



普段や前日の、自動車の燃料消費量、排気ガス、健康への影響(子供も大人も)、騒音レベル、交通量、コストなどの数値が収集できれば、カーフリーデーの効果をより具体的に検証できます。

# 10

## カーフリーな未来を描こう

カーフリーデーは、自動車のない街路や地域とはどのようなものを、市民に示す絶好の機会です。ここでは、解決策を実験したり、新しい施策を始めるよい機会となっています。そして、実際に、多くの都市が、すでにこの最後の一步を踏み出しています!



EUROPEAN  
MOBILITY  
WEEK

連絡先:カーフリーデー・ジャパン(日本担当事務局)

carfreedayjapan@cfjapan.org



#MobilityWeek

